

みんなのサポセン

あいかわ町民活動サポートセンターに登録している団体を紹介します

高齢者サロン「一粒の会」

～生き生きと元気に活動！～

「高齢者サロン」では、地域のボランティアの皆さんの支援で、相談や情報交換、介護予防の推進などを行っています。一人暮らしや外出の機会が減って閉じこもりがちになっている高齢者が身近な場所で気軽に集える場所です。

「一粒の会」は、平成8年に発足しました。主に上熊坂児童館やレディースプラザで、レクリエーションや体操、ボランティア手作りのお茶菓子を持ち合う茶話会などを行います。

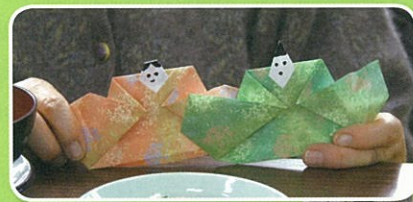
サロンに通うのは、主に70歳・80歳代の元気な方々で、最高齢は94歳。自らの足で活動場所へ行くことができる高齢者が対象です。中には自転車で訪れる方もおり、天候の良しあしに関わらず、毎回元気に多くの方が参加しています。

活動は毎月1回。集まって必ず最初にするのは血压測定。測定結果を基に、その日の体調に合わせて体を動かします。ボランティアの方々が考える毎月の活動は、とても好評です。例えば、フラワーアレンジメントやせっけん作りなどの講座、ときにはバスを借りてお花見やぶどう狩りなど季節の行事も取り入れ、仲間同士の交流を図っています。

「年1回『高齢者サロン 春日台ふれあい会』の皆さんと合同で交流会を行っています。自分の住んでいる地区以外の方とも顔見知りになり、ボランティア同士の輪も広がります。さまざまな情報を交換し、高齢者が生き生きと元気に過ごせるよう皆で考えています」と話すのはボランティアの足立原さん。

いくつになっても元気に住み慣れた地域で暮らすことを目指して、皆さんはこれからも活動を続けていきます。

問 一粒の会 代表 石塚与志 ☎285-3967



座間市民活動サポートセンター



市民活動センターあやせ視察の様子

市サポートセンターを視察しました！

サポートセンター運営委員会では、今後の運営の参考にするため、座間市、綾瀬市のサポートセンターを視察しました。

「座間市民活動サポートセンター」は、まるで水族館の水槽のようなガラス張りの外観で、その外観を生かして登録団体の活動写真を掲示し、外からでも活動の状況が分かりやすく見えるようになっていました。また、運営方法についても、「登録団体の自立運営を目指す」という目標を掲げ、工夫を凝らした企画事業が実施されていました。

「市民活動センターあやせ」は、本町と運営体制は似ているものの、各種助成金の活用や登録団体の交流事業などを積極的に行っていました。

両センターの視察で得たさまざまな学びべき点を生かし、いっそう利用しやすい「あいかわ町民活動サポートセンター」となるよう、今後とも改善を図ります。

問 あいかわ町民活動サポートセンター

☎(205)1323 FAX(205)1324

✉ ai-saposen@bz01.plala.or.jp